

革新的な液晶テレビ CELL レグザ™

CELL REGZA™—The Innovative LCD TV

巻頭言

CELLレグザ™で具現化するテレビの将来像

CELL REGZA™ Realizing All Future Possibilities of TV

2009年12月、東芝は高性能プロセッサCell Broadband Engine™(注1) (以下、Cell BEと略記)を世界で初めてテレビ(TV)に応用した“CELLレグザ”を商品化しました。Cell BEは、スーパーコンピュータや最新のゲーム機に使用されている先進のプロセッサです。その高性能なハードウェアとしての処理能力をTVに応用するため、膨大なソフトウェアと当社が長年にわたって培ってきたTV開発でのノウハウを融合させた“CELLプラットフォーム™”を新たに開発し、デジタルハイビジョン液晶TV レグザ(REGZA)™シリーズの最高峰に位置するCELLレグザ 55X1を商品化しました。

当社は、2006年からレグザブランドを市場導入し、高画質技術、ストレージ技術(注2)、及びネットワーク技術などで、お客さまから高い評価をいただいております。CELLレグザは、新規開発のCELLプラットフォームを搭載することにより、レグザ史上最強の高画質技術、ストレージ技術、及びネットワーク技術を実現したTVの未来形を示す商品であると考えています。

高画質技術では、CELLプラットフォームで高画質映像を作り出すだけでなく、その最高画質の映像を余すところなく表現するために、高い表示能力を持つ液晶パネルも同時に開発しました。また、高画質映像にふさわしい高音質を実現するため、CELLレグザ専用のオーディオシステムも新たに開発しました。録画機能では、3T(テラ:10¹²)バイトの大容量磁気ディスク装置(HDD)を内蔵し、これまでの録画の概念を超えた多チャンネル同時録画機能を実現し、新しい視聴スタイルを提案しています。また、今後の新しい映像メディアとして期待されるネットワークコンテンツに対しては、そのコンテンツを高画質に表示するため、新たに開発したネット映像超解像技術をCELLプラットフォームで実現しています。

この特集では、CELLレグザで実現した、高画質・高音質技術、ストレージ技術、ネットワーク技術などの最先端技術や機能、CELLレグザの将来像を紹介いたします。TVの将来の発展に向けた、当社の取組みの一端をご理解いただければ幸いです。

(注1) Cell Broadband Engineは、(株)ソニー・コンピュータエンタテインメントの商標。

(注2) 動画コンテンツや静止画データなどの記憶装置に関する技術。



徳光 重則
TOKUMITSU Shigenori